

14 農業農村整備事業 <公共>

【平成31年度予算概算決定額 326,026 (321,054) 百万円】
（平成30年度第2次補正予算額 141,272百万円）

<対策のポイント>
農業の競争力強化のための農地の大区画化や汎用化・畑地化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、ため池の管理体制の強化等を推進します。

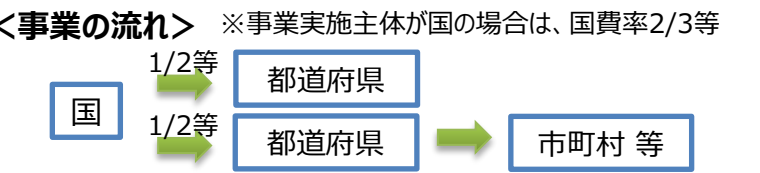
<政策目標>
○担い手が利用する面積が全農地面積の8割となるよう農地集積を推進 [平成35年度まで]
○基盤整備完了区域（水田）における作付面積（主食用米を除く）に占める高収益作物の割合（約2割 [平成27年度] → 約3割以上 [平成32年度まで]）
○施設機能が安定している基幹的農業水利施設の割合 約5割以上 [平成32年度まで]
○ハザードマップ等ソフト対策を実施した防災重点ため池の割合（約5割 [平成27年度] → 10割 [平成32年度まで]）

<事業の内容> <事業イメージ>

1. 担い手が活躍する強い農業基盤づくり
(農業競争力強化対策)
129,678 (111,027) 百万円
担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るため、農地中間管理機構との連携等により、農地の大区画化や汎用化・畑地化、畑地かんがい施設の整備等を実施します。また、パイプライン化やICT等の導入により、新たな農業水利システムを構築し、担い手の多様な水利用や水管理の省力化を推進します。

2. 老朽化した農業水利施設の長寿命化
(国土強靱化対策)
142,093 (126,495) 百万円
老朽化した農業水利施設について、点検・診断に基づき、補修・更新等を適時・的確に実施します。

3. 安全・安心のための農村地域の防災・減災
(国土強靱化対策)
105,327 (83,531) 百万円
基幹的な農業水利施設やため池等の耐震対策、集中豪雨による農村地域の洪水被害防止対策等を実施します。



農業競争力強化対策

1. 担い手が活躍する強い農業基盤づくり

●農地整備を通じた農地集積・集約化の例

現況 計画

●大区画化の例

●汎用化の例

●新たな農業水利システム (イメージ)

●自動給水栓

●水稲

●タマネギ

●面的集積

土地改良区による管理 大規模・少数の担い手農家による管理

国土強靱化対策

2. 老朽化した農業水利施設の長寿命化

●農業水利施設の補修・更新等

●点検・診断結果のデータベース化・可視化

●管理体制の整備

3. 安全・安心のための農村地域の防災・減災

●施設の耐震化

●ため池の整備

●洪水被害防止対策

【お問い合わせ先】 農村振興局設計課 (03-3502-8695)